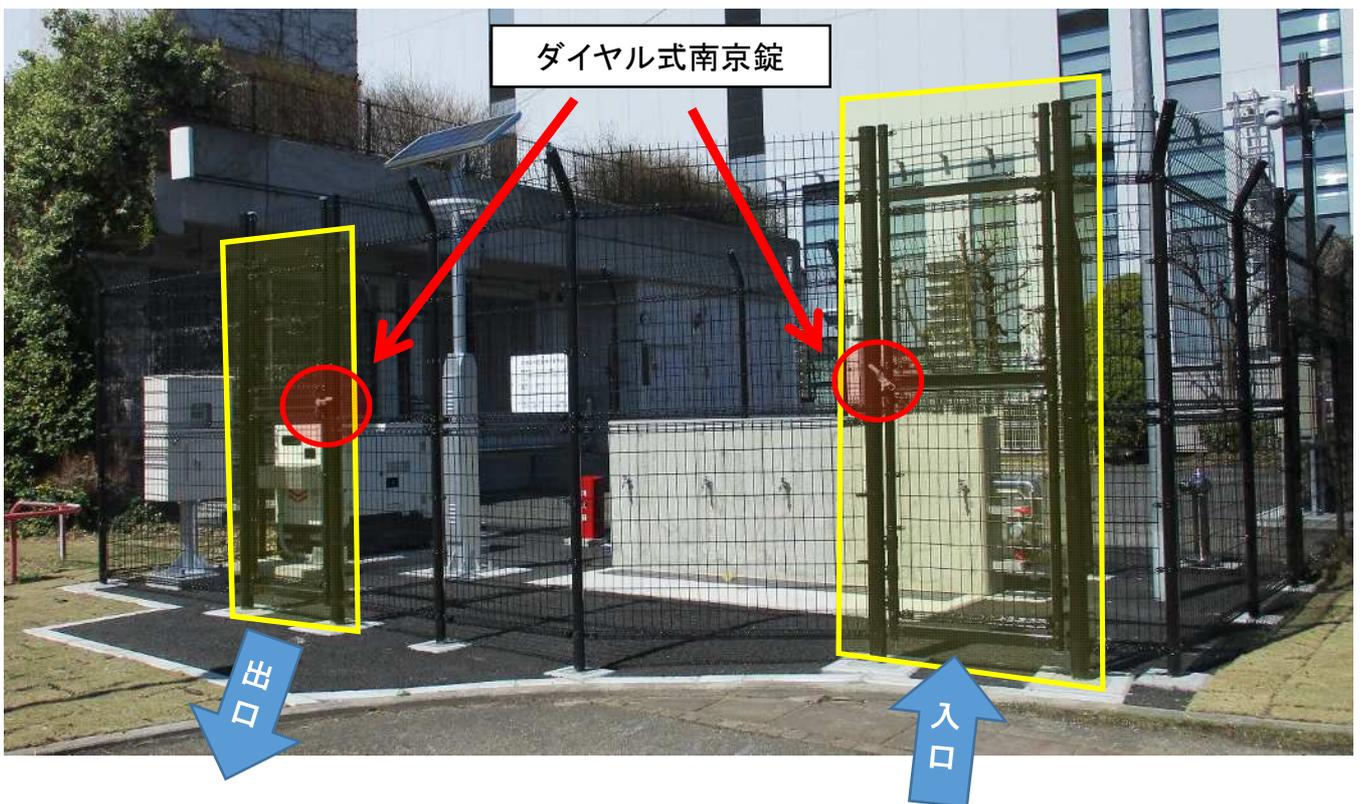


新都心配水場応急給水施設開設方法(住民用給水栓)



① 住民用給水栓のフェンス扉(ダイヤル式南京錠)を開錠して入場する。



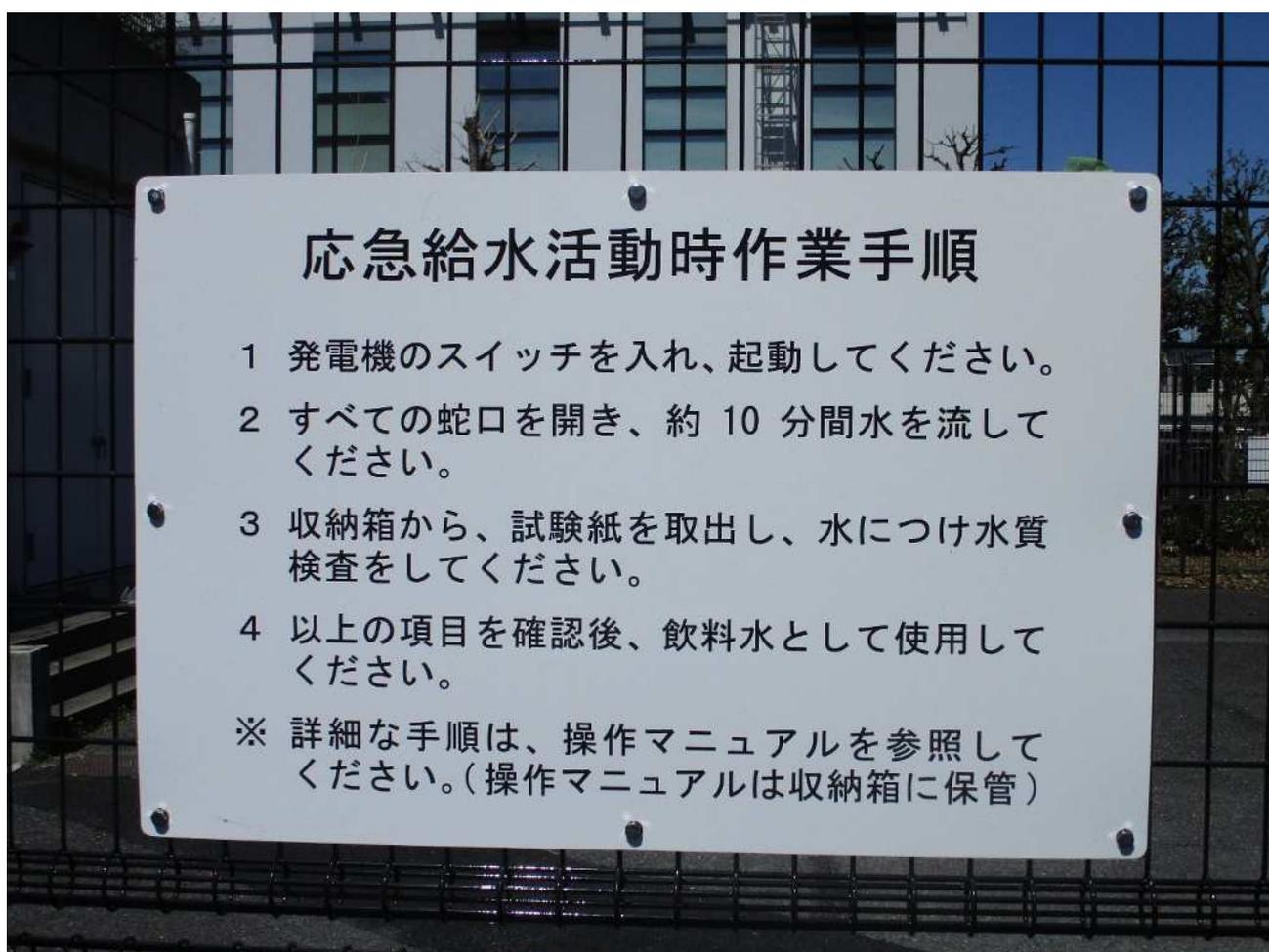
入口・出口それぞれのダイヤル錠を開錠し、フェンス扉を開く。



※防犯上、開錠番号を変更する可能性があります。

※開錠番号は近隣自治会に公開しています。

② 作業手順を確認する。



場内に作業手順の案内看板があります。

③ 自家発電機を稼働させる。 ※ 別添「自家発電機の稼働方法」を参照



※ 自家発電機は、一度稼働させてしまえば、以降に到場した住民の方は操作不要です。

④ すべての蛇口を開き、約10分間、水を流して排水する。（停滞水の排水）

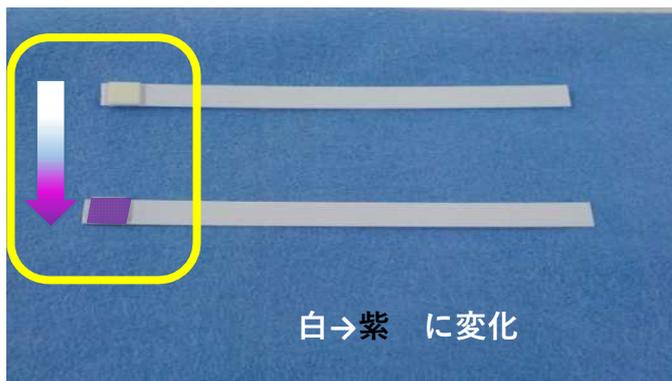
⑤ 簡易水質検査（残留塩素測定）を行い、給水を開始する。

住民用給水栓エリア内にある収納箱から試験紙を取り出す。

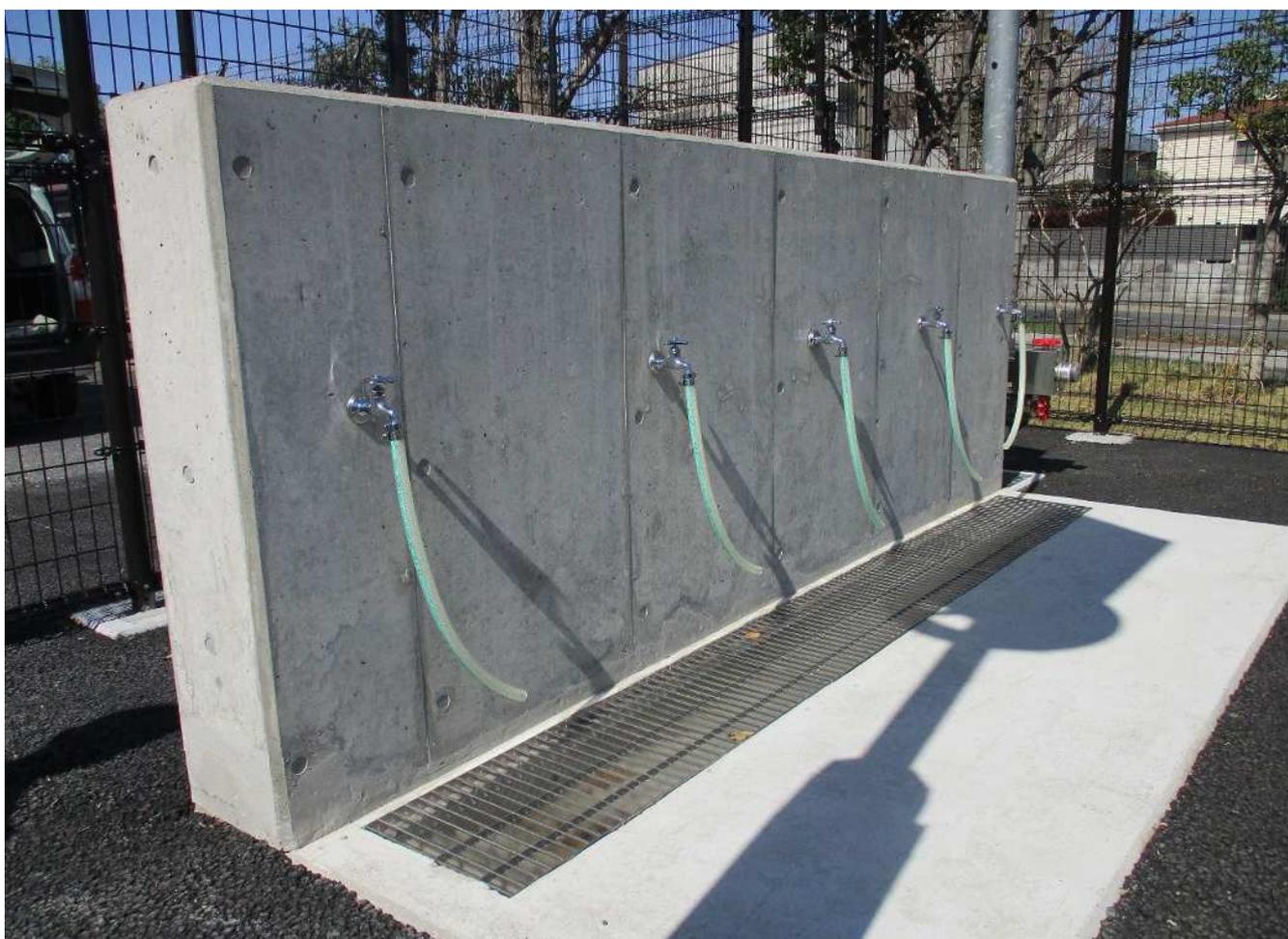


収納箱の中に試験紙の容器が入っています。

試験紙を1枚取出し、蛇口から流れる水に数秒間当てる。



試験紙の色が変化(白→紫)が確認できたら、持参した容器に給水を開始する。



水道総務課 広報・防災係
TEL 048-714-3182

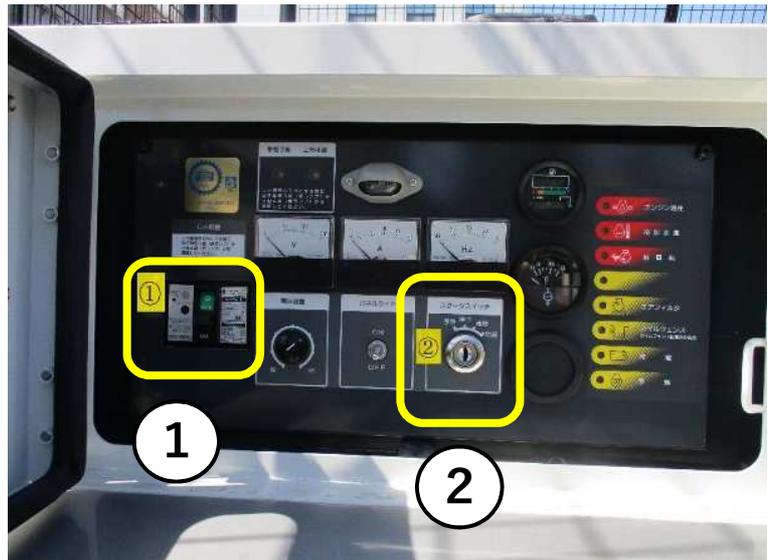
自家発電機の稼働方法

A 発電機の始動



【発電機正面】

取っ手部を引いて、パネルを開き、操作盤を操作する。



1. ①のしゃ断器が「OFF」になっていることを確認する。



2. ②のスタータースイッチを[始動]に動かし、エンジンを始動する。



(スターターキーは、操作盤内にあります。)

※ スイッチは、始動後に手を離すと[運転]位置に戻ります。

【気温が低く始動しづらいときの対処法】

- ・ スタータースイッチを予熱位置に回して保持 (約15秒)
- ・ 予熱ランプが消灯したらスタータースイッチを[始動]に動かしエンジンをかける。



赤点灯
→消灯



3. エンジン始動後、**約5分間**の暖機運転を行う。

4. ①のしゃ断器を「ON」にする。



「OFF」から「ON」

※ 周波数や定格電圧は調整済みであるため、调速ノブや電圧調整つまみの操作等は不要

5. ポンプが自動で動き、蛇口から水が出てきます。

B 発電機の停止 始動時と逆の順序で操作する。

1. ①のしゃ断器を「OFF」にする。



「ON」から「OFF」

2. このままの状態**約5分間**の冷却運転を行う。

3. ②のスタータスイッチを[運転]から「停止」に動かす。

